

記者提供資料
2023年4月24日
文化・スポーツ室歴史文化財係 池田・池澤（内線 7545）

## 明石市指定文化財指定書授与式を開催します

2023年3月27日付けで新たに明石市指定文化財となった弁財船（イサバ）模型の指定書授与式を下記のとおり開催します。

### 記

- 1 開催日時 2023年4月26日（水）午前11時から
- 2 開催場所 御厨神社（明石市二見町東二見 1323）
- 3 対象文化財 弁財船（イサバ）模型（御厨神社所蔵）
- 4 出席予定者 御厨神社宮司 中嶋 邦弘 氏
- 5 開催内容 ① 市民生活局長挨拶  
② 指定書授与  
③ 記念写真撮影

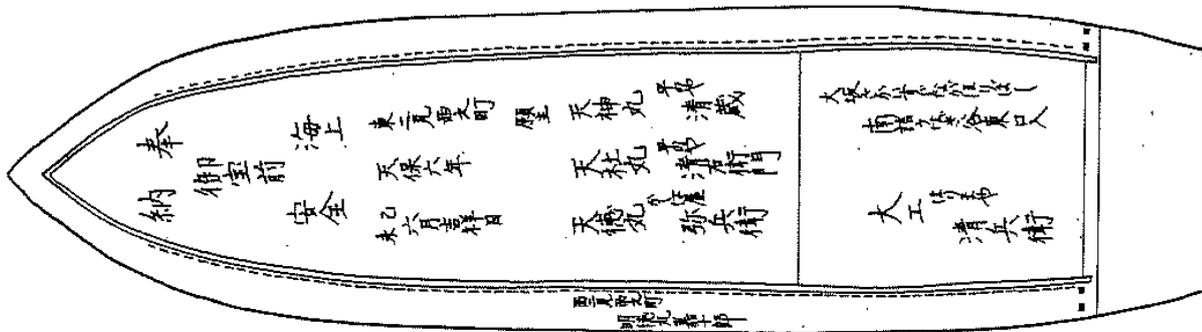
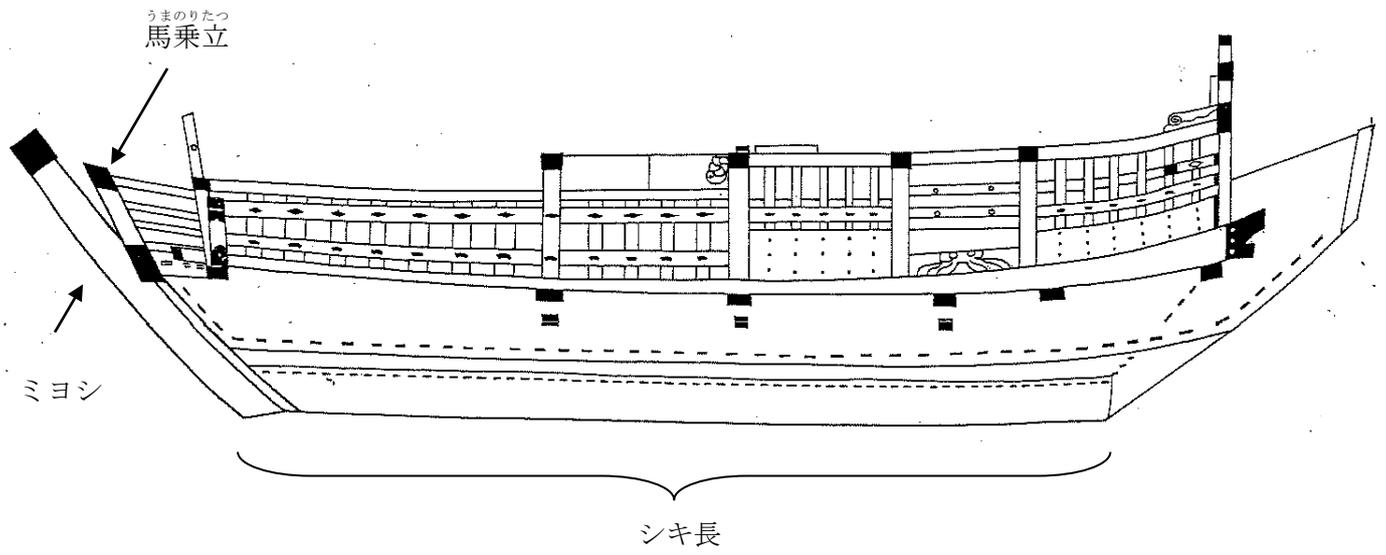
担当：明石市市民生活局文化・スポーツ室  
歴史文化財係 池田・池澤  
TEL 078-918-5629

## 対象文化財の概要

名 称	弁財船（イサバ）模型
所在地	明石市二見町東二見 1323
所有者	御厨神社
時 代	江戸時代（天保年間）
形 状	全長 225.5 cm シキ長 136 cm 胴幅 64.5 cm 船首高さ 41 cm
概 要	<p>船底裏に寄贈者名と奉納時期有</p> <p>天保6年（1835）6月に明石市東二見村と西二見村の船持ちたちによって御厨神社に奉納された弁財船（イサバ）模型である。船底裏側に奉納者や製作者の名および奉納時期が記されており、全体的に当時の形がよく伝えられている。</p> <p>特に船首部分は残りが良く、ミヨシと馬乗立の部分が二股になっており、ミヨシと馬乗立の間には飾り彫板（梅等の模様）がついている。これは、大型弁財船（千石船）にはない、全国でも数少ないイサバ型の模型で、絵馬、板図に書かれたものを裏付ける貴重な資料である。奉納年代も「天保六年（1835）六月」と相対的に古い。</p> <p>このタイプの船は基本的に魚類や薪等の荷物を運んだ船であるが、大坂には二見出身の旅籠屋があり、大坂からの金毘羅参りの客も運んでいたと伝えられる。</p> <p>江戸時代の瀬戸内海の海上交通をとらえるうえで、文化財的価値が高い。</p>



弁財船模型 全景



船底刻字

うまのりたつ  
馬乗立

シヨシ

シキ長

奉納 海上 東元聖町 壁 天神丸 清蔵  
 御堂前 天保六年 天柱丸 清衛門  
 安全 和宮喜博 天徳丸 孤兵衛  
 大工 清兵衛

明徳丸 聖印

大工 清兵衛  
 南宮喜博 喜只